



# 地域おこし協力隊通信

—第16回—

こんにちは、協力隊の西村武美です。寒さから脱出して、気持ちの良い季節になってきましたね。能代の四季を体験し「能代市民」という自覚がふつふつと湧いてきました。と言うのも、先月（5月）で能代市の地域おこし協力隊となり、1年が経ちました。皆さまのお力あっての1年でした。本当にありがとうございました。



能代市地域おこし協力隊マーク

この一年は、今までの経験の中でもトップレベルに入る激動の年となりました。協力隊として、さまざま分野の方とお話させていただく機会があり、それぞれの思いや考えを伺い、今後生きていく上で幅が広がったように思います。

芸術とバスケット、宇宙でPRすることは非常に難しく、反省と改良の毎日ですが、今後も芸術の力とバスケット、宇宙に軸を置き、新しい試みもしていけたらと考えています。

たくさんの方に能代をPRできるような活動していきたいと思っていますので、ご指導、ご協力よろしくお願いたします。

能代市地域おこし協力隊フェイスブックページ  
<https://www.facebook.com/noshirokoryokutrai>

問合せ 市民活力推進課 ☎89・2212



このコーナーでは、市内で操業する誘致企業を紹介します。



No.57

誘致企業編

One for All, All for One  
**東北部品株式会社**  
**秋田工場**

今回は、二ツ井町駒形で1989年に操業した東北部品株式会社秋田工場に訪問し、工場長の藤田新一さんにお話を伺いました。

**秋田工場はどのような会社ですか。**

この工場は旧二ツ井町の誘致企業で、1989年に秋田部品株式会社として操業し、企業合併などにより現在の名称となりました。主に自動車用ワイヤーハーネスを製造しています。

**自動車用ワイヤーハーネスとはどのようなものですか。**

全ての自動車にはクルマの基本性能（走る・曲がる・止まる）や安全性、そして利便性や快適性を可能にするさまざまな電子機器が搭載されています。これらはいずれもバッテリーからの電力と制御信号により動作しています。この電力と信号を伝えているの



ワイヤーハーネスの組み立て作業。普通自動車用では4mの電線が350本ほど束ねられている。

## —社員からひとこと—



作業機械メンテナンス

小玉皓太さん(二ツ井町小掛)

高校を卒業し、この会社に就職して3年目となります。地元で働きたいこと、自動車などの機械に興味があったことなどから、高校の就職指導の先生に相談し、自分の希望に合う東北部品秋田工場の採用試験を受けました。

初めての就職で慣れないことばかりでしたが、先輩や同僚などに助けてもらいながら仕事をしています。今は毎日がとても楽しいです。

がワイヤーハーネスです。この工場では、ほぼ半数がトラックに使用されるものを製造しており、自動車のほか、トラクターなど農作業用機械のものも製造しています。

**会社としてのモットーや企業理念を教えてください。**  
 親会社の矢崎部品株式会社を含め、全てのグループ企業のモットーを「One for All, All for One」と定めており、一人ひとりが自らの役割と果たすべき責任をしっかりと理解し、互いに思いやる気持ちを持つことを基本としています。  
 地元の誘致企業として、これからも地域に貢献できるように頑張っています。



【工場概要】  
 工場長 藤田 新一  
 所在地 能代市二ツ井町駒形字烏野3-3  
 ☎75-2046  
 設立 1989年2月22日  
 事業内容 自動車用ワイヤーハーネス製造